

第 1 章

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」
(小学校)

I 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(小学校)の概要

1 調査の目的

東京都教育委員会では、平成16年度から、国語、社会、算数、理科の教科の目標や内容の実現状況を把握し、それを指導方法の充実・改善に結び付けることを目的に、教科別・観点別の学力定着状況調査を3年間実施した。平成18年度から平成20年度にかけては、各教科等で身に付けた知識や技能、思考力や判断力等を相互に関連付け、日常生活や学校生活などの問題場面において、活用できるかどうか、その実現状況をみるため、「問題解決能力等」の調査を実施した。平成19年度から平成22年度にかけては、国語及び算数の学習指導要領に示されている内容に基づいた「基礎的・基本的な事項に関する調査」を実施した。

調査の結果から、東京都における児童の学力の定着状況については概ね良好であるが、「長い文章を読んで内容を把握することや情報を整理して判断すること」について課題があることが明らかになった。この課題を踏まえ、平成22年度には、「文章や図表、グラフなどから必要な情報を正確に読み取り、解釈しながら問題を解決する」過程において、児童がどの段階でどのような学習のつまずきがあるのかを明らかにするために、*「読み解く力に関する調査」を実施した。平成23年度からは、小学校学習指導要領が全面実施されたことを踏まえ、学習指導要領に示された目標や内容の実現状況と読み解く力の定着状況を把握するために、国語、社会、算数、理科の各教科について調査を実施している。

*「読み解く力」については、「文章や図表等から必要な情報を正確に取り出し、比較・関連付けて読み取り、理由を理解・解釈推論して解決する力」とした。

2 調査問題作成の基本方針

- (1) 調査問題を、年度ごとに比較する「経年比較型」、児童のつまずきが、どこでどのように見られたのか分析できる「課題分析型」、よりよい授業展開の在り方を提案する「授業提案型」の3種類とする。
- (2) 学習指導要領に示された目標や内容の実現状況を、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの評価の観点(国語は5観点)から調査する。
- (3) 「読み解く力」の定着状況を、「必要な情報を正確に取り出す力」、「比較・関連付けて読み取る力」、「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」の3つの観点から調査する。

3 調査項目

教科	調査項目
国語	・話すこと・聞くこと(「聞くこと」については、音声を聞いて答える問題) ・漢字の読み(「学年別漢字配当表」第4学年までのもの) ・漢字の書き(「学年別漢字配当表」第3学年までのもの) ・言葉に関する知識・文学的な文章の読み・説明的な文章の読み・書くこと 【読み解く力】(1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
社会	・身近な地域や区市町村の様子・地域の販売に携わっている人々の働き ・地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための活動 ・地域の人々の安全を守る活動・都道府県の位置・東京都の様子 ・地域の人々が受け継いできた年中行事・県内の特色ある地域の人々の生活 【読み解く力】(1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
算数	・整数、小数、分数の計算(小数×小数を含む)・大きな数・倍とかけ算、わり算 ・量の単位・角の大きさ・平面、空間の位置・□などを用いた式 【読み解く力】(1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
理科	[小学校第5学年6月までに学習する次の内容] ・風やゴムの働き・電気の通り道・昆虫と植物・太陽と地面の様子・光の性質 ・電気の働き・金属、水、空気と温度・季節と生物・空気と水の性質 ・理科室の使い方・動物の誕生 【読み解く力】(1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力

※持ち物として、定規を用意する。

※各教科とも小学校第4学年までに学習した内容を含む。

Ⅱ 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(小学校)の結果について

1 調査結果の概要

教科	《教科の観点ごとの正答率》			《教科の読み解く力ごとの正答率》		
	評価の観点	全都平均 正答率	全都平均正答率グラフ (%) 0 50 100	読み解く力の観点	全都平均 正答率	全都平均正答率グラフ (%) 0 50 100
国 語 (第五 学年)	国語への 関心・意欲・態度	93.2%		必要な情報を 正確に取り出す力	71.8%	
	話す・聞く能力	71.0%		比較・関連付けて 読み取る力	63.7%	
	書く能力	72.4%		B 読み解く力に 関する内容	67.3%	
	言語についての 知識・理解・技能	59.4%				
	読む能力	64.8%		教科の合計(A+B)	67.8%	
	A 教科の内容	67.9%				
社 会 (第五 学年)	社会的事象への 関心・意欲・態度	88.1%		必要な情報を 正確に取り出す力	74.8%	
	社会的な 思考・判断・表現	75.2%		比較・関連付けて 読み取る力	51.6%	
	観察・資料活用の 技能	77.7%		意図や背景、理由を理解・ 解釈・推論して解決する力	51.4%	
	社会的事象につい ての知識・理解	64.7%		B 読み解く力に 関する内容	61.5%	
	A 教科の内容	75.3%		教科の合計(A+B)	71.1%	
算 数 (第五 学年)	算数への 関心・意欲・態度	90.7%		必要な情報を 正確に取り出す力	73.8%	
	数学的な考え方	52.8%		比較・関連付けて 読み取る力	61.6%	
	数量や図形につい ての技能	65.4%		意図や背景、理由を理解・ 解釈・推論して解決する力	7.8%	
	数量や図形につい ての知識・理解	67.3%		B 読み解く力に 関する内容	47.7%	
	A 教科の内容	64.5%		教科の合計(A+B)	61.4%	
理 科 (第五 学年)	自然事象への 関心・意欲・態度	91.9%		必要な情報を 正確に取り出す力	82.5%	
	科学的な思考・表現	65.8%		比較・関連付けて 読み取る力	76.9%	
	観察・実験の技能	62.6%		意図や背景、理由を理解・ 解釈・推論して解決する力	74.7%	
	自然事象につい ての知識・理解	65.8%		B 読み解く力に 関する内容	78.0%	
	A 教科の内容	68.8%		教科の合計(A+B)	71.6%	

※教科の合計(A+B)は、全体から算出した正答率であり、表中のAとBの単純平均とはなっていない。

2 各教科の問題ごとの正答率一覧と間違えてしまったときの復習のポイント

(1) 国語（小学校第5学年対象）

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点	正答率	分類
1(1)	1	3・4年A話聞エ	話合いの内容を的確に捉えることができる。	②	80.9%	○
1(2)	2	3・4年A話聞エ	話を聞くときに、相手が伝えたいと思っている大事なことを捉えることができる。	②	62.2%	
1(3)	3	3・4年A話聞オ	目的に応じて、話合いを適切に進行することができる。	②	69.9%	●
1(4)	4	3・4年A話聞オ	司会の役割について理解し、気を付けることが身に付いている。	①	96.2%	●
2(1)	5	3・4年 伝(1)ウ(イ)	第4学年までに配当されている漢字を文脈に即して正しく読むことができる。	⑤	80.3%	○
2(2)	6	3・4年 伝(1)ウ(イ)		⑤	69.0%	○
3(1)	7	3・4年 伝(1)ウ(イ)	第3学年までに配当されている漢字を正しく書くことができる。	⑤	76.9%	○
3(2)	8	3・4年 伝(1)ウ(イ)		⑤	48.2%	○
4(1)	9	3・4年C読イ	【資料A】の文章から、虫が鳴く気温の条件や、虫の鳴き方についての情報を正確に取り出すことができる。	⑥	71.8%	○
4(2)	10	3・4年C読イ	【資料A】と【資料B】の二つの資料の内容を比較・関連付けて読み取ることができる。	⑦	63.7%	●
4(3)	11	3・4年C読エ	【資料A】と【資料B】の筆者の考えを理解・解釈して、ゆうきくんが目的に応じてまとめた文章を考えることができる。	⑧	66.5%	
5(1)	12	3・4年C読ウ	叙述をもとに場面の様子を正確に読み取ることができる。	④	65.2%	○
5(2)	13	3・4年C読ウ	叙述をもとに「加奈子」の気持ちを正確に読み取ることができる。	④	60.6%	●
5(3)	14	3・4年C読ウ	叙述をもとに「加奈子」が叱られた気がしなかった理由を読み取ることができる。	④	68.7%	
6(1)	15	3・4年B書ウ	相手や目的に応じて書きたいことが伝わるように書くことができる。	③	75.3%	●
6(2)	16	3・4年B書オ	文末表現の使い方に注意して文章を読み返し、よりよい表現に書き直すことができる。	③	69.5%	●
6(3)	17	3・4年B書	体験の記録を見直すときに気を付けることが身に付いている。	①	90.1%	●
7	18	3・4年 伝(1)イ(キ)	文の中における主語と述語の関係について理解できている	⑤	38.9%	●
8(1)	19	3・4年 伝(1)イ(キ)	修飾と被修飾との関係（連続する文節にある場合）について理解できている。	⑤	77.9%	●
8(2)	20	3・4年 伝(1)イ(キ)	修飾と被修飾との関係（離れた文節にある場合）について理解できている。	⑤	25.0%	●

(評価の観点) ①国語への関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力

⑤言語についての知識・理解・技能 ⑥必要な情報を正確に取り出す力

⑦比較・関連付けて読み取る力 ⑧意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である。

○ 間違えてしまったときの復習のポイント

問題番号	通し番号	復習のポイント
1(1)	1	話を聞くときに、相手が伝えたいと思っている大事なこと（「いつ」・「だれが」・「なにを」・「どのように」等）を落とさないように、メモを取りながら聞くこと。
1(2)	2	話を聞くときに、相手が伝えたいと思っている大事なこと（「いつ」・「だれが」・「なにを」・「どのように」等）を落とさないように、メモを取りながら聞くこと。
1(3)	3	話合いの内容がそれた時に、話し合っている内容を確認すること。
1(4)	4	司会をするときに、何のために話合いをしているのか考えながらみんなの意見を聞き、よい点や大切な点、似ている点や違う点を整理して、筋道を立てて話し合えるようにすること。
2(1)	5	第4学年までに学習した漢字を、文の内容に合わせて正しく読めるようにすること。
2(2)	6	
3(1)	7	第3学年までに学習した漢字を、文の内容に合わせて正しく書けるようにすること。
3(2)	8	
4(1)	9	段落の内容を読み取り、内容を整理すること。
4(2)	10	資料Aと資料Bの内容を比べ、分かったことを整理すること。
4(3)	11	2つの資料について、筆者の考えを理解して、目的に応じて文章をまとめること。
5(1)	12	「時間」「場所」「登場人物」などに注意して、場面の様子を思い浮かべながら読むこと。
5(2)	13	登場人物の気持ちを思い浮かべながら読むこと。
5(3)	14	登場人物の気持ちを、話の展開や言動から読み取ること。
6(1)	15	書きたいことが伝わるように、相手や目的に応じて報告するための文章の書き方や、紹介する文章の書き方を生かして書くこと。
6(2)	16	書きたいことが正しく伝わるように、よりよい表現に書き直すこと。
6(3)	17	自分が体験したことを相手や目的に応じて工夫して書くこと。
7	18	文の中の主語と述語について着目して読むこと。
8(1)	19	文の中のくわしくする言葉とその言葉がどの言葉をくわしくしているかについて着目して読むこと。
8(2)	20	

(2) 社会（小学校第5学年対象）

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点	正答率	分類
1(1)	1	3・4年 (1) ア	地図を基に、身近な地域の様子を、四方位から読み取ることができる。	③	66.5%	○
1(2)	2		地図を基に、市役所の位置を八方位から読み取ることができる。	③	60.0%	○
1(3)	3		縮尺から2地点間の距離を読み取ることができる。	③	82.7%	●
2(1)	4	3・4年 (4) アイ	D地域の交通事故の発生件数の変化から調べてみたい課題を見付け、調べようとしている。	①	88.3%	●
2(2)	5		交通事故発生時の、通信指令センターにおける対処の様子を読み取ることができる。	③	71.7%	○
2(3)	6		交通事故発生時の、警察官の仕事の目的を捉えることができる。	②	73.1%	○
3(1)	7	3・4年 (6) アイ	自分たちが通う小学校がある区市町村の位置を理解している。	④	58.0%	○
3(2)	8		東京都の主な都市、交通、特色ある地域の位置について理解している。	④	80.0%	○
3(3)	9		東京都の地理的位置について理解している。	④	60.9%	○
3(4)	10		47都道府県の名称と位置を理解している。	④	59.8%	○
4(1)	11	3・4年 (2) アイ	スーパーマーケットの店内図から、店内の様子について読み取ることができる。	③	93.3%	○
4(2)	12		スーパーマーケットを見学して見付けた工夫の目的を捉えることができる。	②	86.4%	●
4(3)	13		学習を振り返ったことを基に、これから取り組んでいきたいことを考えようとしている。	①	88.0%	●
5(1)	14	3・4年 (5) イ	調べ学習に必要な資料が何かを読み取ることができる。	③	86.2%	●
5(2)	15		実行委員長の話から、年中行事がどのように行われてきたかを読み取ることができる。	③	83.8%	●
5(3)	16		年中行事を受け継いできた人の話から、その願いや思いについて考えることができる。	②	66.2%	●
6(1)	17	3・4年 (6) ウエ	施設Gを訪れる前に行った場所、またはこれから行く場所についての情報を、正確に取り出すことができる。	⑤	80.9%	●
6(2)	18		資料から取り出した情報を関連付け、市の課題を読み取ることができる。	⑥	45.0%	
6(3)	19		市の課題に対する解決策について、推論することができる。	⑦	46.8%	
7(1)	20	3・4年 (3) アイ	M川のBOD量の変化についての情報を正確に取り出すことができる。	⑤	76.3%	●
7(2)	21		水再生センターの働きについての情報を正確に取り出すことができる。	⑤	67.3%	●
7(3)	22		資料から読み取ることができる情報を比較・関連付け、仕事の内容を読み取ることができる。	⑥	58.3%	
7(4)	23		M川の水をきれいに保つために、自分たちが協力できることについて推論することができる。	⑦	56.1%	

(評価の観点) ①社会的事象への関心・意欲・態度 ②社会的な思考・判断・表現 ③観察・資料活用の技能

④社会的事象についての知識・理解 ⑤必要な情報を正確に取り出す力

⑥比較・関連付けて読み取る力 ⑦意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である。

○ 間違えてしまったときの復習のポイント

問題番号	通し番号	復習のポイント
①(1)	1	方位記号の矢印の向きを確かめて、地図上の四方位を読み取ること。
①(2)	2	地図を基に、指定された場所の位置の八方位を読み取ること。
①(3)	3	縮尺から2地点間の距離を読み取ること。
②(1)	4	D地域の交通事故の発生件数の変化から調べてみたい課題を見付け、調べようとする事
②(2)	5	交通事故発生時の、通信指令センターにおける対処の様子を読み取ること。
②(3)	6	警察官の仕事について調べて分かったことを整理し、その目的を捉えること。
③(1)	7	自分たちが通う小学校がある区市町村の位置を理解すること。
③(2)	8	東京都の主な都市、交通、特色ある地域の位置について理解すること。
③(3)	9	東京都の地理的位置について理解すること。
③(4)	10	都道府県の位置と名称を確認すること。ニュースや本などを読み取り分かった道府県の位置と名称をまとめたり、名産などの特色について調べたりすること。
④(1)	11	資料から、スーパーマーケット内の様子について読み取ること。
④(2)	12	スーパーマーケットを見学した後、見付けた工夫を整理し、その目的を捉えること。
④(3)	13	学習を振り返り、これからどのようなことに取り組んでいくか考えること。
⑤(1)	14	調べ学習に必要な資料が何かを読み取ること。
⑤(2)	15	E祭りの実行委員長さんの話から、年中行事がどのように行われてきたかを読み取ること。
⑤(3)	16	年中行事を受け継いできた人の話から、その願いや思いについて考えること。
⑥(1)	17	グラフから、施設Gを訪れる前に行った場所、またはこれから行く場所についての情報を正確に取り出すこと。
⑥(2)	18	資料から取り出した情報を関連付け、市の課題を読み取ること。
⑥(3)	19	市の課題に対するみはるさんが考えた解決策について推論すること。
⑦(1)	20	グラフから、M川のBOD量の変化についての情報を正確に取り出すこと。
⑦(2)	21	資料から、水再生センターの働きについての情報を正確に取り出すこと。
⑦(3)	22	「下水道局の人の話」と「水再生センターのしくみ」から読み取ることができる情報を比較・関連付け、R、Sで行われる仕事の内容を読み取ること。
⑦(4)	23	M川の水をきれいに保つために、自分たちが協力できることについて推論すること。

(3) 算数（小学校第5学年対象）

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点	正答率	分類
1(1)	1	4年D(2)ア	四則の混合した計算ができる。	③	67.7%	○
1(2)	2	4年A(5)イ	小数－小数の計算ができる。	③	57.3%	○
1(3)	3	4年A(5)ウ	小数÷整数の計算ができる。	③	64.6%	○
1(4)	4	4年A(6)イ	帯分数－帯分数（同分母）の計算ができる。	③	64.0%	○
1(5)	5	5年A(3)イ	小数×小数の計算ができる。	③	63.7%	○
2(1)	6	5年A(3)イ	積や商の大きさを理解している。	④	37.8%	●
2(2)	7	4年A(3)ウ	わり算で余りが小数となる場合の計算ができる。	③	45.1%	●
3(1)	8	4年A(1)ア	数を相対的にみる（単位のいくつ分）ことができる。	④	61.3%	○
3(2)	9	4年A(1)ア	数を相対的にみる（単位ごとの数の和）ことができる。	④	63.2%	○
3(3)	10	4年A(1)ア	十進位取り記数法の理解から、指定された大きさの数を考えることができる。	②	19.0%	
4(1)	11	4年D(2)ウ	基準量、比較量、割合の関係を図に表すことができる。	②	64.3%	●
4(2)	12	4年D(2)ウ	量の関係を、基準量×割合＝比較量の式に表すことができる。	②	63.8%	○
4(3)	13	4年A(5)ウ	比較量と基準量から割合を求めることができる。	③	70.7%	○
5(1)	14	2年B(1)ア	cmとmの関係を理解している。	④	84.6%	○
5(2)	15	3年A(5)ア	gとkgとの関係を理解している。	④	55.2%	●
5(3)	16	2年B(2)ア	任意の量いくつ分か単位をつくり、単位がいくつ分かを考慮することができる。	②	58.8%	
5(4)	17	3年B	ものの量について学習したことを活用しようとしている。	①	89.1%	●
6(1)	18	4年B(2)イ	分度器を使って角度を測ることができる。	③	92.5%	○
6(2)	19	4年B(2)ア	直角や半回転の角度を理解している。	④	88.0%	●
6(3)	20	4年B(2)イ	180°より大きい角度の求め方を考えることができる。	②	67.6%	●
6(4)	21	4年B(2)	自ら課題を解決し、対話を通して学び合おうとしている。	①	92.3%	●
7(1)	22	4年C(3)	平面上の位置が、二つの長さの組で表せることを理解している。	④	72.5%	○
7(2)	23	4年C(3)	空間の位置が、三つの長さの組で表せることを理解している。	④	75.6%	●
8(1)	24	4年D(2)ウ	二つの数量関係を表す式から、関係を表に表すことができる。	③	62.8%	●
8(2)①	25	4年D(2)ウ	場面から、伴って変わる二つの数量の関係を考えることができる。	②	57.1%	
8(2)②	26			②	39.0%	
9(1)	27	4年D(2)ウ	ご石の並べ方から情報を正しく取り出すことができる。	⑤	81.6%	○
9(2)	28	4年D(2)ウ	並べる回数とご石の数について関連付けながら表にまとめ、関係について読み取ることができる。	⑥	81.6%	●
9(3)	29	4年D(2)ウ	並べる回数とご石の数について読み取ったことをもとに、問題を解決することができる。	⑦	4.4%	
10(1)	30	4年D(4)ア	場面から正しく情報を取り出すことができる。	⑤	66.0%	○
10(2)	31	4年D(4)ア	おかしと飲み物を選んだ人数について表にまとめ、関係について読み取ることができる。	⑥	41.6%	●
10(3)	32	4年D(4)ア	おかしと飲み物を選んだ人数について読み取ったことをもとに、問題を解決することができる。	⑦	11.2%	

(評価の観点) ①算数への関心・意欲・態度 ②数学的な考え方 ③数量や図形について技能

④数量や図形についての知識・理解 ⑤必要な情報を正確に取り出す力

⑥比較・関連付けて読み取る力 ⑦意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である。

○ 間違えてしまったときの復習のポイント

問題番号	通し番号	復習のポイント
1	(1)	1 計算のきまりでは、「たし算、ひき算」よりも、「かけ算、わり算」を先に計算すること。
1	(2)	2 ひかれる数とひく数の小数点をそろえて筆算をすること。
1	(3)	3 わり算の筆算で、一の位に商がたたないときは、0と小数点を書いてわり進むこと。
1	(4)	4 分数部分がひけるように、仮分数にしたり整数をくり下げたりしてから計算すること。
1	(5)	5 整数×整数の積を求めた後、小数部分のけた数だけ小数点を左に移動すること。
2	(1)	6 わられる数やかける数の大きさによって、答えの大きさの見当をつけること。
2	(2)	7 わり算の筆算の余りの小数点は、わられる数の小数点に合わせてうつこと。
3	(1)	8 100万をもとにして考えるときは、百万の位から一、十、百…と数えて考えること。
3	(2)	9 位の表を使って、空位の0に気をつけながら数を書くこと。
3	(3)	10 上の位に大きな数を置くと大きな数ができること。
4	(1)	11 もとにする量を1、そのときくらべられる量を□倍として図に表すこと。
4	(2)	12 倍を求める場面では、もとにする量×□=くらべられる量の式で量の関係を表すこと。
4	(3)	13 もとにする量×□=くらべられる量の式から、倍は、くらべられる量÷もとにする量で求められること。
5	(1)	14 1 m=100 c mであること。
5	(2)	15 1 k g=1000 gであること。
5	(3)	16 1 Lなどの単位をつくり、それがいくつ分かを考えて量を表すこと。
5	(4)	17 身に付けた知識・技能や考え方を生活の場面に活かすこと。
6	(1)	18 分度器で角度を測るときは、一方の直線を分度器の中心と0度に合わせること。
6	(2)	19 直角は90度、一直線の角度は180度であることから角の大きさを考えること。
6	(3)	20 180度より大きな角度は、180度にたしたり、360度からひいたりして求めること。
6	(4)	21 すすんで問題の解決に取り組み、友達と対話しながら考えを広げたり深めたりすること。
7	(1)	22 平面上の位置を、もとの位置から横にいくつ、たてにいくつと順に数えて求めること。
7	(2)	23 空間の位置を、元の位置から横、たて、高さそれぞれの長さで表すこと。
8	(1)	24 ○+□が10になるように、表に数を書いていくこと。
8	(2)	25 一方が変わったとき、もう一方がどう変わるか考えて表をかくこと。どのような計算になるか考えて式に表すこと。
8	①②	26
9	(1)	27 ならべ方のきまりを問題文や図から正確に取り出すこと。
9	(2)	28 ならべる回数とならべると石の数の変わり方を関連付けて、表に整理すること。
9	(3)	29 整理した表からきまりを見つけて、考える範囲を広げていくこと。
10	(1)	30 おかしと飲み物を選んだ人数を正確に取り出すこと。
10	(2)	31 部分の人数と全体の人数とを関連付け、表に整理すること。
10	(3)	32 整理した人数を基に、全体の代金を求めること。

(4) 理科 (小学校第5学年対象)

問題番号	通し 番号	学習指導 要領の内容	出題のねらい	評価の 観点	正答率	分類
1	1	3年 B(1)ア	昆虫の体のつくりの特徴について理解している。	④	78.9%	○
2	2	4年 B(2)イ	温度計の適切な使い方を理解している。	③	71.6%	○
3	3	4年 A(2)イ	安全に実験を行うための方法や加熱器具の取り扱い方を理解している。	③	59.2%	○
4(1)	4	3年 A(5)ア・イ	乾電池の数やつなぎ方を変えると、モーターの回る速さや向きが変わることを理解している。	④	58.1%	
4(2)	5	4年 A(3)ア	電気を通す物は金属であることを理解している。	④	21.0%	○
5(1)	6	4年 A(2)イ・ウ	予想が正しかった場合に得られる実験の結果について考えることができる。	②	60.8%	●
5(2)	7		水が 100℃近くになり、水の中から盛んに泡がでてくる現象の名称を理解している。	④	82.0%	●
6	8	4年 A(2)ウ	水の性質と生活への活用場面とを関係付けて考えることができる。	②	70.0%	●
7(1)	9	3年 B(3)ア	方位磁針の適切な使い方を理解している。	③	57.0%	○
7(2)	10		方位を調べる道具の名称を理解している。	④	89.1%	○
7(3)	11		太陽の動き方とかげの動き方とを関係付けて考えることができる。	②	65.5%	
8	12	3年 A(3)イ	実験を正確に行うための条件について考えることができる。	②	66.7%	●
9(1)	13	3年 A(2)イ	ゴムをねじる回数とプロペラカーが進んだ距離との関係を【実験1の結果】から読み取ることができる。	⑤	80.5%	●
9(2)	14		【実験1の結果】と【実験2の結果】とを比較・関連付けて、ゴムが物を動かす働きについて考えることができる。	⑥	88.7%	●
9(3)	15		ゴムをねじる回数とプロペラカーが進んだ距離との関係やゴムが物を動かす働きについて理解し、適切な条件を考えることができる。	⑦	81.0%	
9(4)	16		ゴムの働きに興味・関心を持ち、さらに調べたり、活用したりしようとしている。	①	94.8%	●
10(1)	17	5年 B(2)ア	観察の結果から分かることについて、【資料1】から読み取ることができる。	⑤	84.4%	●
10(2)	18		観察の結果と予想とを比較・関連付けて考えることができる。	⑥	65.1%	●
10(3)	19		メダカが卵を産むための必要な条件を理解し、具体的な条件を考えることができる。	⑦	68.4%	
10(4)	20		観察・実験の結果を基に、自らの学習活動を振り返ったり、新たな課題を発見したりしようとしている。	①	89.0%	●

(評価の観点) ①自然事象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・表現 ③観察・実験の技能
 ④自然事象についての知識・理解 ⑤必要な情報を正確に取り出す力
 ⑥比較・関連付けて読み取る力 ⑦意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である。

○ 間違えてしまったときの復習のポイント

問題番号	通し番号	復習のポイント
1	1	昆虫の体のつくりの特徴について理解すること。
2	2	温度計の適切な使い方を理解すること。
3	3	安全に実験を行うための方法や加熱器具の取り扱い方を理解すること。
4(1)	4	乾電池の数やつなぎ方を変えると、モーターの回る速さや向きが変わることを理解すること。
4(2)	5	電気を通す物は金属であることを理解すること。
5(1)	6	予想が正しかった場合に得られる実験の結果について考えること。
5(2)	7	水が 100℃ 近くになり、水の中から盛んに泡がでてくる現象の名称を理解すること。
6	8	水の性質と生活への活用場面とを関係付けて考えること。
7(1)	9	方位磁針の適切な使い方を理解すること。
7(2)	10	方位を調べる道具の名称を理解すること。
7(3)	11	太陽の動き方とかげのでき方とを関係付けて考えること。
8	12	実験を正確に行うための条件について考えること。
9(1)	13	ゴムをねじる回数とプロペラカーが進んだ距離との関係を資料から読み取ること。
9(2)	14	実験の結果を比較・関連付けて、ゴムが物を動かす働きについて考えること。
9(3)	15	ゴムをねじる回数とプロペラカーが進んだ距離との関係やゴムが物を動かす働きについて理解し、適切な条件を考えること。
9(4)	16	ゴムの働きに興味・関心をもち、さらに調べたり、活用したりしようとする事。
10(1)	17	観察の結果から分かることについて、資料から読み取ること。
10(2)	18	観察の結果と予想とを比較・関連付けて考えること。
10(3)	19	メダカが卵を産むために必要な条件を理解し、具体的な条件を考えること。
10(4)	20	観察・実験の結果を基に、自らの学習活動を振り返ったり、新たな課題を発見したりしようとする事。